

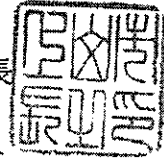


建 第 159 号の2

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

上 山 市 長



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼あったみだしのことについて、つぎのとおり提出します。

記

- 1 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など（様式①）
- 2 地域の現状と抱える課題（様式②）と目指すべき将来像（様式③）
- 3 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等（様式④）

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

◎ 一極集中からの転換と地方の活力向上

急激な人口減少や高齢化の中で、特に地方において活力が低下しつつあることから、これまでの東京などを中心とする一極一軸的な国土構造の転換を図り、それぞれの地域が地方分権の下に特色や資源を生かしながら自立的な発展が図れるよう、その基盤となる社会資本の整備が強く求められています。

経済活動の広域化や地域間の交流・連携などに対応する高速交通体系や都市間を結ぶ幹線道路などは、真に必要な社会資本であり、その整備は必要かつ不可欠であると考えます。

山形県のように高速道路をはじめ、社会資本整備が遅れている地域においては、短期的かつ集中的に整備を図る必要があり、将来交通量に基づく費用便益を最優先にした評価では、すでに整備が進んでいる地域との格差は、今後ますます拡大するのみであります。

このように社会資本が遅れたままでは、地域間競争のなかで産業振興もままならず、経済活動の停滞により、地域活力が失われ、人口流失に拍車がかかることが懸念されます。

また、大都市圏と地方都市との格差のみならず、地方の中でも地域コミュニティの維持などの課題を抱える山村部との地域格差が拡大しており、小規模都市や中山間地域でも安心して住み続けられる生活圏が形成されるよう、今後の道路行政に反映していただきたい。

◎ 道路財源の確保

中央と地方、さらに地方においても格差が拡大しつつある中で、規模の小さい都市でも地域活力の向上を図り、かつ中山間地における持続可能な生活圏を形成するためには、道路をはじめその基盤となる社会資本の整備は欠くことのできないものであり、そのための財源は優先して確保されるべきものであります。

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現状

- ・ 山形県の高速道路の整備状況は、全国や東北の中で大きく遅れており、本市を縦貫する東北中央道南陽高畠・山形上山間においても、平成18年度に着工したばかりであり、完成予定の平成30年度まで今後10年余りの期間を要する。
- ・ 本市の幹線道路である国道13号は、現在道路改良が進められており、その他、事業化されている県道についても、整備が進められており、早期完成が待たれる。
- ・ 市道などの生活道路については、改良や側溝・舗装などの整備を要する箇所が多数あるが、財源の手当てが難しくなかなか整備が進まないのが現状である。また、橋梁についても老朽化が進んでおり、今後維持管理費がますます増大してくることが見込まれる。
- ・ 道路予算（整備費・維持管理費・除雪費）は、道路特定財源のほかに起債・一般財源を充当しており、必要な予算手当てが難しい状況にある。

○課題

- ・ 高速交通体系や都市間を結ぶ幹線道路等の社会資本整備が立ち遅れており、地域間格差が拡大している中で地域の活力を生み出すには、産業の振興をはじめ多方面において大きな波及効果が期待される高速道路や広域交流や連携につながる都市間幹線道路の早期整備を図る必要がある。
- ・ 急激な人口減少や高齢化の進行により、集落の存続が懸念されるが、市街地へのアクセス道路の整備や高齢者など、交通弱者に対応した公共交通を確保し、安心して住み続けられる生活圏を形成する必要がある。
- ・ 道路財源の確保が厳しい状況の中で、市民ニーズを的確に捉え、優先順位をつけながら効率的、効果的な整備を図る必要がある。

②－２ 地域の目指すべき将来像

◎ 活力を支える交通環境の向上

- ・ 広域交流や連携に対応する高速交通体系や都市間幹線道路の整備を図り、地域の活力を高め、市勢の発展を図る。
- ・ 中心市街地と集落を結ぶ道路や景観に配慮した歩行者にやさしい道路整備を行い、中心市街地の活性化を図る。
- ・ 地域交通面で弱い立場にある子どもや高齢者への対応や地域の利便性を高めるため公共交通の充実を図る。

◎ 暮らしを支える生活基盤の充実

- ・ 住民のニーズを的確に捉え市民と行政の協働により、舗装や側溝整備など、生活に密着した道路の整備を推進する。
- ・ ゆとりある歩行空間をし、だれもが安心して歩ける道づくりを推進する。
- ・ 除排雪体制を強化するとともに、市民と連携し高齢者世帯などの雪処理支援の充実を図る。

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

山形県上山市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	
・ 高速交通体系の確立	・ 東北中央自動車道の整備促進	・ 全国の高速道路網への連結により観光誘客数の増加や農産物流通の活性化、企業立地の促進、救急医療機関へのアクセスの向上、災害時の復旧、避難ルートの確保などその効果は大きく、他方面に及ぶ。	・ インター周辺の土地利用
・ 都市間を結ぶ幹線道路等の整備促進	・ 主要地方道や県道の整備促進	・ 都市間道路などの幹線道路整備により、広域的な交流や連携が促進される。	
・ 安心して住み続けられる生活圏の形成	・ 中心市街地と集落を結ぶ幹線道路や生活に密着した道路の整備 ・ 公共交通の維持・充実	・ 生活道路を整備し、安全性や利便性を確保するとともに、公共交通の維持・充実を図ることにより、市街地と集落との交流が促進され、地域コミュニティの維持につながる。	
・ 協働によるまちづくり	・ 市民と行政の協働による生活に密着した道路の整備	・ 生活環境の改善と市民と行政の協働によるまちづくりが推進される。	